



名古屋市の上下水道事業に関わる人に聞いてきました！ ～経営企画課で働く流域連携担当へのインタビュー～



●木曾三川流域連携会議とは？

木曾川、長良川、揖斐川の木曾三川流域の水環境を支える上中流域では、高齢化や過疎化、農林業の衰退など様々な課題を抱えています。将来にわたり安全でおいしい水道水を安定して供給するには、健全な水環境を守っていくことが必要と考え、上中流域が抱える課題を流域全体の議論を通して一体となって水環境保全に取り組んでいます。

■どのような仕事をしているか教えてください

流域の連携につながるような会議やイベントの企画、他都市との調整が主な仕事です。各自治体の市町村長などが意見交換を行う「木曾三川流域自治体サミット」や上中流域の生産者と下流域の仕入れ企業との商談の場を提供する「商談会」、市民に流域住民の方との交流を通じて水環境保全の意識を高めてもらう「木曾三川流域シンポジウム」などがあります。

今年の8月、会議の中で出た意見から専用ウェブサイトを作成し、流域で開催されるイベント情報や活動報告などの掲載を始めました。市民のみなさまに、気軽に流域自治体のことを身近に感じていただけるようなページにしていきます。是非ご覧ください（^^♪

■大変だなと感じるときはありますか？

平成 29 年 4 月で「木曾三川流域自治体連携会議」の構成自治体は 4 県下 45 自治体となりました。多くの流域自治体との仕事の調整は大変な部分もありますが、貴重な経験だと感じています。

■市民のみなさまにひとことお願いします！

なごやの水道水は豊かな水源“木曾川”に支えられています。この水源を守る活動を行っている人たちが、名古屋市から遠く離れたところにもいるということを知ってもらえると嬉しいです。魅力的な場所もたくさんあるのでお出かけにもおすすめですよ☆

★かわたん（木曾三川流域連携事業のマスコットキャラクター）

水辺で生活する水鳥がモチーフです。

体全体で伊勢湾を、頭上の3枚の羽でそこへ流れ込む木曾川・長良川・揖斐川の様子を表しています。羽の先端の緑は流域の森林をイメージし、木曾三川の水が伊勢湾へ注ぎ込む様子を色の違いで表現しています☆



木曾三川流域自治体連携会議の構成自治体
(4 県下 45 自治体 平成 29 年 4 月時点)



国土数値情報（行政区域、河川データ）
をもとに名古屋市上下水道局が加工